

第四回 深坂さくらえ

— 4月3日開催 —

4月3日、今年で4回目になる深坂さくらえが開かれた。開会式で東北の方角に向かって、死者行方不明者を思っ一分間の黙禱が奉げられた。本部には、俳句の投句箱に並んで募金箱も置かれた。

黙禱を奉げる参加者



ウォーキング
午前中は恒例のウォーキングを楽しんだ。健脚コースは見晴台。植物観察コースは「もみじ谷」で植物探索を行った。



シュンラン

昼食

昼食は各自持参だが、ぜんざいのサービスがあった。無料だが、募金箱が隣においてあった。皆、勇んで奮発していました。



イベント

午後からは東日本大震災の復興が早くできますようにと、応援を込めてプログラムを組んだというISHIN吹奏楽団のブラバン、平家太鼓勝山会、周防・猿舞座の猿まわしなど、協力出演も豪華でした。最後、全員で「ふるさと」を大合唱した。じゃんけん大会の商品に豪華ラン鉢が用意されるなど、心温まるさくらえでした。この日応募された俳句は（玉藻同人）濱福郁子先生によって審査され、優秀作品には賞状が贈呈された。別欄に発表。

じゃんけん大会



平家太鼓勝山会



ISHIN 吹奏楽団



これがホントの猿回し？

第3回桜研修旅行

3月29、30日

— 人吉・熊本 —

今回は人吉の人吉城址、市房ダム、不知火海、熊本城などをめぐる1泊2日のバス旅行でした。

人吉城址は、建物はないが、石垣の上の城跡に大きな杉の林がありました。盆地を見下ろす風景もなかなかのものでした。



市房ダム湖は大きく、周囲に桜2万本を植えたとい

う。バスで一周しました。桜は満開、噴水も歓迎してくれた。

各地の名物の賞味も研



修の一環。社員旅行と違って、上司も部下もなく、自由で気楽な宴会でした。

た。不知火海の水上游覧は写真のような小型船2隻に分かれて乗り、海上から花見をしました。



熊本城を背景に一行の記念撮影。



最近完成の昭君の間は息を飲む美しさ。加藤清正も、ここに秀頼と淀の方を迎えたかったろうと思うと感慨ひとしおでした。
よき友と一緒に美しい風景、文化、美味しい食事を味わいながらの年に一度の桜研修旅行は、さくら友の会に欠かせない年中行事です。